

I 推計結果の概要

1 三重県経済の動向

～ 経済成長率 名目：1.6%増 実質：1.9%増 ～

県内総生産は名目では8兆2,272億円（対前年度比1.6%増）実質では7兆9,701億円（同1.9%増）の増加となりました。

平成29年度の三重県経済は、生産面では、不動産業及び電気・ガス・水道・廃棄物処理業などが減少したものの、製造業及び運輸・郵便業などが増加となり、名目で対前年度比1.6%増となり3年連続の増加、実質で同1.9%増となり2年連続の増加となりました。

分配面では企業所得は減少、財産所得は増加、県民雇用者報酬は6年連続の増加となりました。

支出面では、民間最終消費支出は4年連続で減少、政府最終消費支出は増加、総固定資本形成は3年連続の増加となりました。

図 I - 1 県内総生産と経済成長率の推移

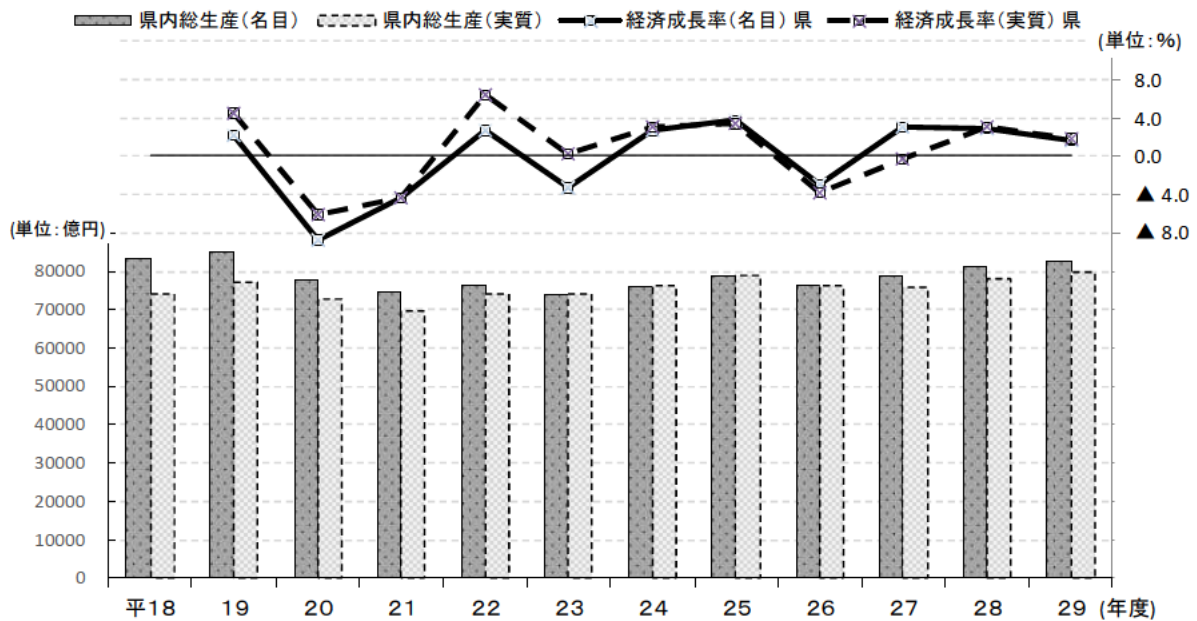


表 2 県内総生産と経済成長率の推移

| 年度 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経済成長率 (名目) | - | 2.2 | ▲8.8 | ▲4.3 | 2.8 | ▲3.3 | 2.7 | 3.8 | ▲3.0 | 3.1 | 2.8 | 1.6 |
| <単位:%> (実質) | - | 4.5 | ▲6.1 | ▲4.3 | 6.3 | 0.3 | 3.1 | 3.5 | ▲3.7 | ▲0.2 | 3.0 | 1.9 |
| 県内総生産 (名目) | 83,342 | 85,191 | 77,728 | 74,388 | 76,462 | 73,922 | 75,886 | 78,749 | 76,424 | 78,766 | 80,992 | 82,272 |
| <単位:億円> (実質) | 73,996 | 77,358 | 72,647 | 69,493 | 73,896 | 74,097 | 76,399 | 79,040 | 76,096 | 75,941 | 78,241 | 79,701 |

実質は平成23暦年基準

〈参考：日本経済の動向〉

平成29年度の我が国経済をみると、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いている。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。

政府は、持続的な経済成長の実現に向け、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、平成29年12月8日に「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定した。あわせて、追加的財政需要に適切に対処するため、平成29年度補正予算を編成する。雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復していくことが見込まれる。

(平成29年12月19日閣議了解「平成30年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」より)

図I-2 実質経済成長率の推移(全国、三重県)

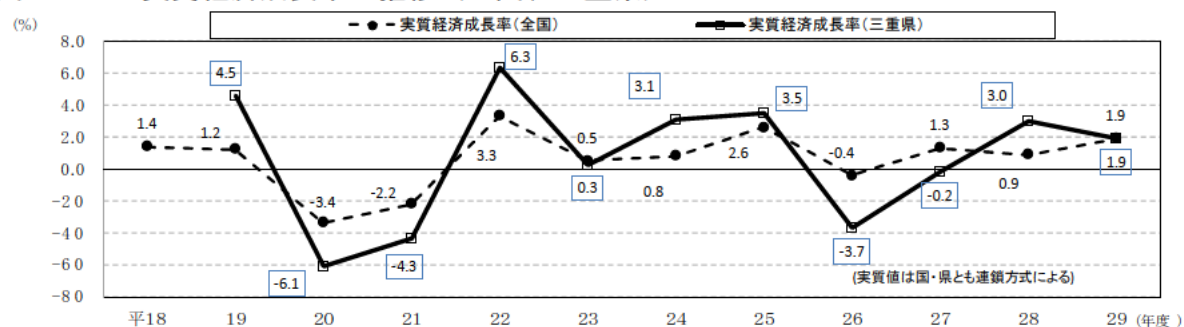


表3 主要経済指標の動向

| | | 三重県 | | | 全国 | | | 備考(出典) |
|-----------------------------------|------|-------|------|------|------|------|------|--|
| | | 平27 | 28 | 29 | 平27 | 28 | 29 | |
| 製造品出荷額等 ＜従業員規模4人以上＞ | 前年比 | 3.4 | ▲9.2 | 6.1 | 2.6 | ▲3.5 | 5.6 | 「工業統計表」「経済センサス」経済産業省 |
| 付加価値額(前年比) ＜従業員規模4人以上＞※1 | 前年比 | ▲1.6 | 4.9 | 10.5 | 6.2 | ▲0.7 | 6.4 | |
| 鉱工業生産指数(原指数) | | | | | | | | 「鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き」三重県 「鉱工業指数データ」経済産業省 |
| ＜鉱工業＞ | 前年度比 | ▲2.0 | 4.6 | 2.6 | ▲0.7 | 0.8 | 2.9 | |
| ＜電子部品・デバイス工業＞ | 前年度比 | 4.2 | ▲0.5 | 16.0 | 2.2 | 0.8 | 4.7 | |
| ＜輸送機械工業＞ | 前年度比 | ▲16.4 | 20.0 | ▲5.2 | ▲0.8 | 1.9 | 3.4 | |
| 消費者物価指数 ＜総合＞ | 前年比 | 0.8 | ▲0.3 | 0.3 | 0.8 | ▲0.1 | 0.5 | 「消費者物価指数結果」総務省統計局 三重県は津市の数値 |
| 家計消費支出 ＜二人以上の世帯＞※2 | 前年比 | ▲3.4 | 1.2 | ▲1.8 | ▲1.3 | ▲1.8 | 0.3 | 「家計調査結果」総務省統計局 |
| 百貨店・スーパー販売(旧:大型 小売店販売)(既存店調整値) | 前年比 | 0.4 | ▲0.5 | ▲2.0 | 0.4 | ▲0.9 | 0.0 | 「商業動態統計年報」経済産業省 |
| 新設住宅着工戸数 | 前年度比 | 3.4 | 7.4 | ▲8.5 | 4.6 | 5.8 | ▲2.8 | 「建築統計年報」国土交通省 |
| 公共工事請負契約額 ＜500万円以上工事＞ | 前年度比 | 0.3 | 5.4 | 10.5 | ▲6.6 | 2.7 | ▲1.8 | 「建設工事受注動態統計調査報告」国土交通省 |
| 自動車(新車)登録台数 | 前年度比 | 1.1 | 5.8 | ▲1.1 | 0.0 | 7.5 | ▲0.6 | 「三重県自動車数要覧」日本自動車販売協会連合会 「統計データ」日本自動車販売協会連合会 |
| 名目賃金指数(現金給与総額) ＜事業所規模5人以上＞ | 前年比 | 1.2 | ▲0.7 | 0.8 | 0.1 | 0.5 | 0.4 | 「毎月勤労統計地方調査年報」三重県 「毎月勤労統計調査結果報告」厚生労働省 |
| 常用雇用指数 ＜事業所規模5人以上＞ | 前年比 | 1.8 | ▲0.6 | 0.2 | 2.1 | 2.1 | 2.5 | |
| 有効求人倍率(原数値) | 年度値 | 1.32 | 1.45 | 1.65 | 1.23 | 1.39 | 1.54 | 「労働市場月報」三重労働局 「一般職業紹介状況」厚生労働省 |

※1 29人以下は粗付加価値額である。

※2 三重県欄数値は、東海4県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)の数値である。

2 県内総生産（生産側、名目）

～ 製造業が対前年度比2.4%増～

経済活動別にみると、製造業の電子部品・デバイスが増加となったほか、運輸・郵便業なども増加となり、県内総生産（名目）は3年連続の増加となりました。

(1) 第1次産業（農業、林業、水産業）

農業、林業、水産業ともに増加したことから、対前年度比0.5%増となりました。

- ・農業は畜産、米麦の産出額が増加したことなどから、対前年度比0.5%増となりました。
- ・林業は素材生産業の産出額が増加したことなどから、同1.7%増となりました。

(2) 第2次産業（鉱業、製造業、建設業）

製造業、建設業が増加したことから、対前年度比2.8%増となりました。

- ・製造業は電子部品・デバイス、石油・石炭製品などが増加したことなどから、対前年度比2.4%増となりました。
- 業種別にみると、電子部品・デバイスが対前年度比35.8%増、石油・石炭製品が同44.9%増となりましたが、輸送用機械は同28.2%減となりました。
- ・建設業は対前年度比6.4%増となりました。

(3) 第3次産業（上記の1次・2次産業以外の産業）

不動産業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業などが減少したものの、運輸・郵便業などが増加したことから、対前年度比0.8%増となりました。

- ・運輸・郵便業は、他の運輸業、道路運送業が増加し、対前年度比5.5%増となりました。
- ・不動産業は同1.3%減、電気・ガス・水道・廃棄物処理業は、同3.5%減となりました。

図 I - 3 経済活動別寄与度（平成29年度）

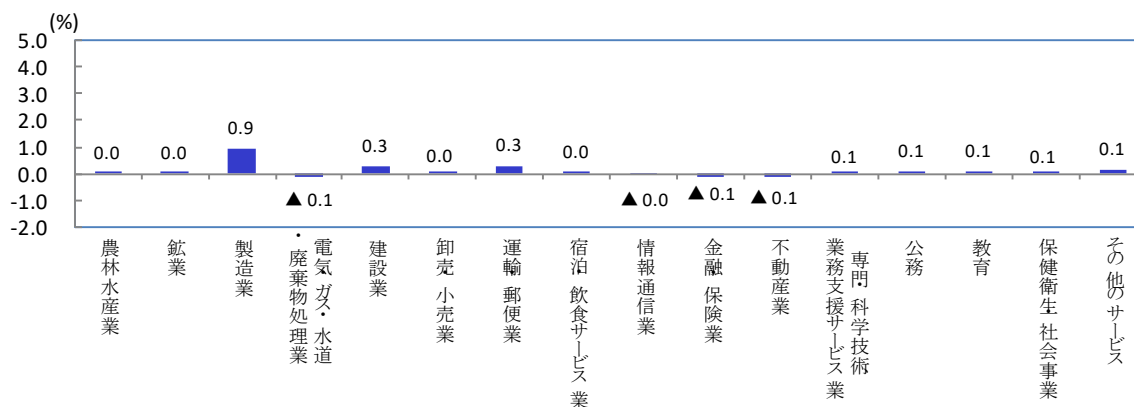
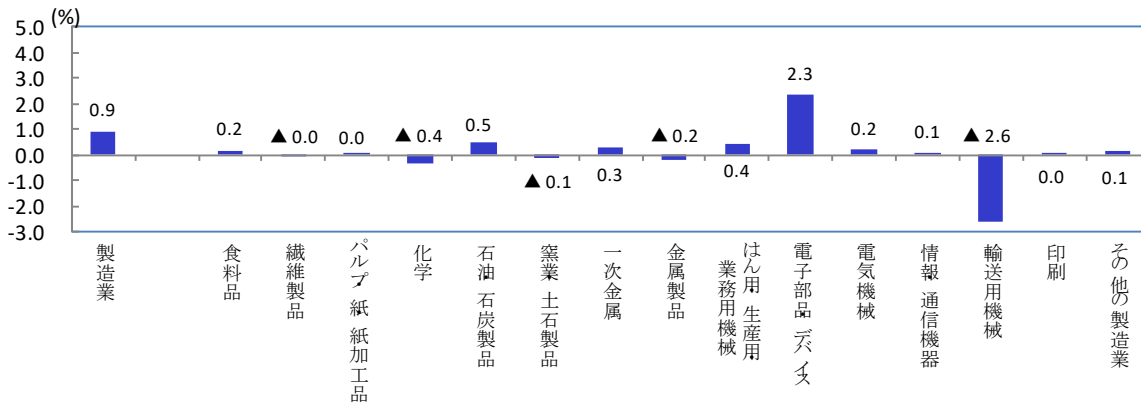


図 I - 4 製造業の業種別寄与度（平成29年度）



名目経済成長率は1.6%で、製造業(寄与度+0.9%)などがプラスに寄与しています。また製造業を業種別にみると、電子部品・デバイスがプラスに、輸送用機械がマイナスに寄与しています。

※寄与度…全体の変動に対して、各構成項目の変動がどの程度影響を与えているかを示す指標で、各寄与度の合計は全体の伸び率と一致します。
 寄与度 = 前期における構成比 × 当期の前期に対する増減率

表 4 経済活動別県内総生産（名目）

| | 実数(億円) | | | 対前年度増加率(%) | | | 構成比(%) | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|------------|--------|-------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 27 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 |
| (1) 農林水産業 | 848 | 899 | 903 | 11.0 | 6.0 | 0.5 | 1.1 | 1.1 | 1.1 |
| (2) 鉱業 | 75 | 68 | 74 | ▲ 6.3 | ▲ 8.8 | 8.7 | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| (3) 製造業 | 28,959 | 31,094 | 31,847 | 7.1 | 7.4 | 2.4 | 36.8 | 38.4 | 38.7 |
| (4) 電気・ガス・水道 ・廃棄物処理業 | 2,306 | 2,131 | 2,057 | 20.9 | ▲ 7.6 | ▲ 3.5 | 2.9 | 2.6 | 2.5 |
| (5) 建設業 | 3,195 | 3,416 | 3,635 | ▲ 7.6 | 6.9 | 6.4 | 4.1 | 4.2 | 4.4 |
| (6) 卸売・小売業 | 6,897 | 6,960 | 6,969 | 8.2 | 0.9 | 0.1 | 8.8 | 8.6 | 8.5 |
| (7) 運輸・郵便業 | 4,323 | 4,450 | 4,693 | 0.5 | 2.9 | 5.5 | 5.5 | 5.5 | 5.7 |
| (8) 宿泊・飲食サービス業 | 1,621 | 1,783 | 1,817 | ▲ 5.3 | 9.9 | 1.9 | 2.1 | 2.2 | 2.2 |
| (9) 情報通信業 | 1,694 | 1,675 | 1,648 | ▲ 1.7 | ▲ 1.1 | ▲ 1.6 | 2.2 | 2.1 | 2.0 |
| (10) 金融・保険業 | 2,796 | 2,611 | 2,541 | 0.8 | ▲ 6.6 | ▲ 2.7 | 3.5 | 3.2 | 3.1 |
| (11) 不動産業 | 6,780 | 6,634 | 6,545 | ▲ 2.2 | ▲ 2.1 | ▲ 1.3 | 8.6 | 8.2 | 8.0 |
| (12) 専門・科学技術 ・業務支援サービス業 | 3,087 | 3,211 | 3,279 | ▲ 0.9 | 4.0 | 2.1 | 3.9 | 4.0 | 4.0 |
| (13) 公務 | 4,008 | 3,967 | 4,024 | 1.0 | ▲ 1.0 | 1.4 | 5.1 | 4.9 | 4.9 |
| (14) 教育 | 4,312 | 4,343 | 4,405 | 0.7 | 0.7 | 1.4 | 5.5 | 5.4 | 5.4 |
| (15) 保健衛生・社会事業 | 4,597 | 4,690 | 4,731 | 4.1 | 2.0 | 0.9 | 5.8 | 5.8 | 5.8 |
| (16) その他のサービス | 3,199 | 3,237 | 3,353 | ▲ 3.4 | 1.2 | 3.6 | 4.1 | 4.0 | 4.1 |
| 小計 | 78,696 | 81,170 | 82,522 | 3.3 | 3.1 | 1.7 | 99.9 | 100.2 | 100.3 |
| 輸入品に課される税・関税 | 1,304 | 1,169 | 1,305 | 0.5 | ▲ 10.4 | 11.6 | 1.7 | 1.4 | 1.6 |
| (控除)総資本形成に係る 消費税 | 1,234 | 1,347 | 1,554 | 21.0 | 9.2 | 15.3 | 1.6 | 1.7 | 1.9 |
| 県内総生産 | 78,766 | 80,992 | 82,272 | 3.1 | 2.8 | 1.6 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 第1次産業 | 848 | 899 | 903 | 11.0 | 6.0 | 0.5 | 1.1 | 1.1 | 1.1 |
| 第2次産業 | 32,229 | 34,579 | 35,556 | 5.4 | 7.3 | 2.8 | 40.9 | 42.7 | 43.2 |
| 第3次産業 | 45,619 | 45,692 | 46,062 | 1.8 | 0.2 | 0.8 | 57.9 | 56.4 | 56.0 |

3 県民所得（分配）

～ 県民所得は3年連続の増加 ～

企業所得は減少したものの、県民雇用者報酬、財産所得は増加したことから、県民所得（分配）は3年連続の増加となりました。

(1) 県民雇用者報酬

県民雇用者報酬は、3兆6,925億円（対前年度比2.3%増）となり、6年連続の増加となりました。

- ・県民雇用者報酬の県民所得全体に占める割合は65.9%となりました。
- ・賃金・俸給は3兆2,241億円（対前年度比2.4%増）となりました。

(2) 財産所得（非企業部門）

財産所得は、2,533億円（対前年度比7.4%増）となり、3年ぶりに増加となりました。

- ・受取が対前年度比6.3%増、支払が同3.8%増となりました。

(3) 企業所得

企業所得は、1兆6,537億円（対前年度比1.3%減）となり、3年ぶりに減少となりました。

- ・民間法人企業は1兆1,206億円（対前年度比2.4%減）となりました。
- ・公的企業は522億円（同3.1%増）となりました。
- ・個人企業は4,809億円（同0.9%増）となりました。

表5 県民所得（分配）

| | 実数(億円) | | | 対前年度増加率(%) | | | 構成比(%) | | |
|-------------|--------|--------|--------|------------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 |
| 県民雇用者報酬 | 35,519 | 36,098 | 36,925 | 0.1 | 1.6 | 2.3 | 66.2 | 65.4 | 65.9 |
| 財産所得(非企業部門) | 2,616 | 2,358 | 2,533 | ▲ 8.8 | ▲ 9.9 | 7.4 | 4.9 | 4.3 | 4.5 |
| 企業所得 | 15,520 | 16,759 | 16,537 | 15.5 | 8.0 | ▲ 1.3 | 28.9 | 30.4 | 29.5 |
| 県民所得(分配) | 53,655 | 55,215 | 55,995 | 3.6 | 2.9 | 1.4 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

一人当たり県民所得は311万1千円となり、前年度（305万4千円）より1.9%増加しました。全国を100とした値では97.5となり、前年度より1.6ポイント下落しました。

※「一人当たり県民所得」は、企業の利潤なども含んだ県経済全体の所得水準を示す指標であり、県民個人の所得や賃金水準を示す値ではありません。

図 I - 5 項目別の推移（平成18年度＝100）

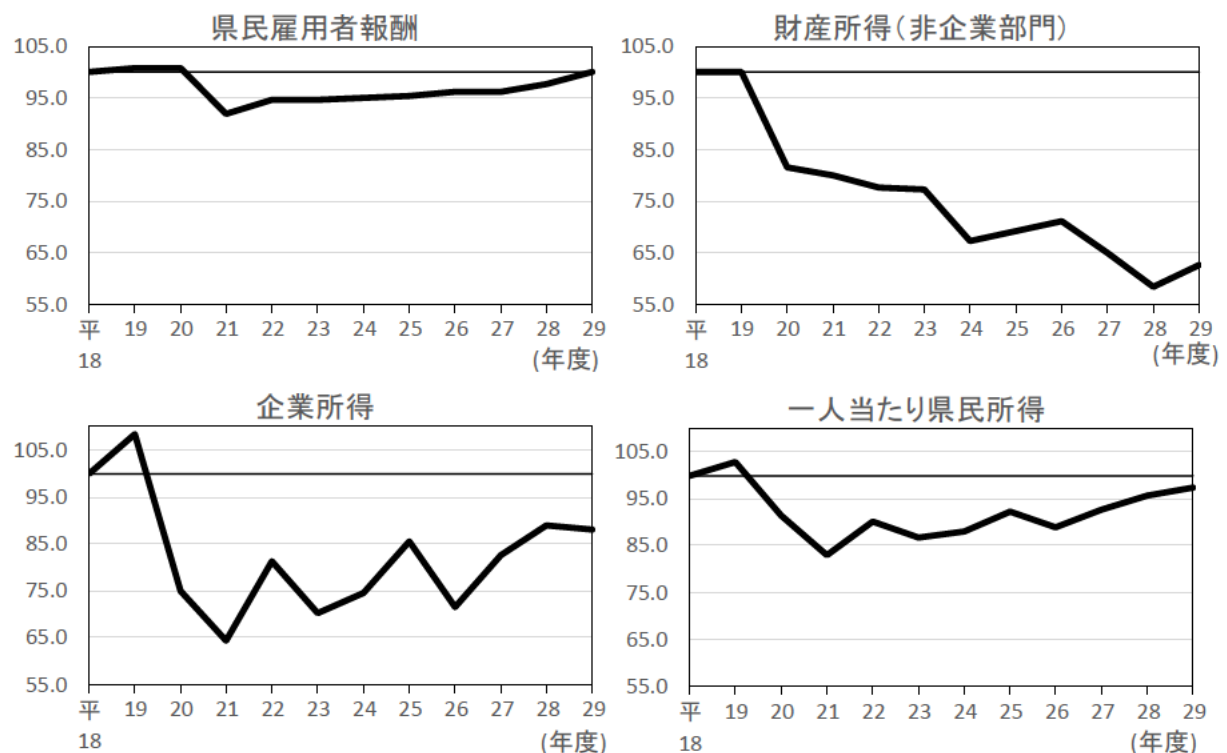


図 I - 6 一人当たり県民所得（分配）の推移

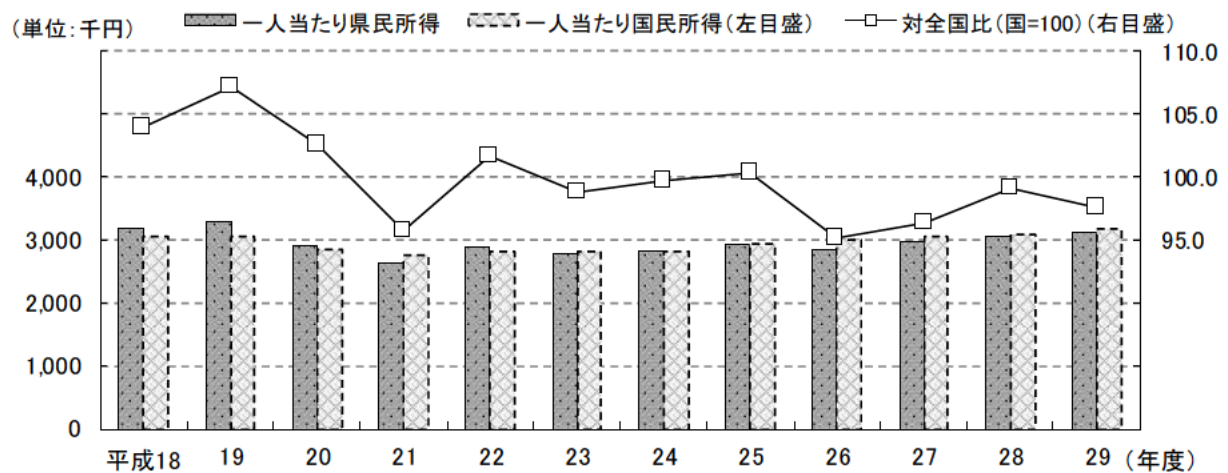


表6 一人当たり県民所得（分配）

| 年度 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 一人当たり県民所得 | 3,191 | 3,287 | 2,918 | 2,645 | 2,872 | 2,771 | 2,811 | 2,946 | 2,837 | 2,955 | 3,054 | 3,111 |
| 一人当たり国民所得 | 3,068 | 3,065 | 2,843 | 2,760 | 2,827 | 2,805 | 2,820 | 2,938 | 2,983 | 3,069 | 3,082 | 3,190 |
| 対全国比(国=100) | 104.0 | 107.2 | 102.6 | 95.8 | 101.6 | 98.8 | 99.7 | 100.3 | 95.1 | 96.3 | 99.1 | 97.5 |

※一人当たり県民所得は、「人口推計年報」（総務省統計局）の各年10月1日現在推計人口により算出

※一人当たり国民所得は、「平成29年度国民経済計算確報」より

4 県内総生産（支出側、名目）

～民間最終消費支出は4年連続の減少～

民間最終消費支出は4年連続の減少となり、県内総資本形成は3年連続の増加となりました。

(1) 民間最終消費支出

民間最終消費支出は、3兆8,485億円(対前年度比0.1%減)で、4年連続の減少となりました。

- ・民間最終消費支出の県内総生産全体に占める割合は46.8%となりました。
- ・家計最終消費支出の主な内訳費目は次のとおりです。

増加費目:その他(対前年度比2.4%増)、交通(同2.0%増)

減少費目:住居・電気・ガス・水道(同4.2%減)、食料・非アルコール飲料(同1.2%減)

(2) 政府最終消費支出

政府最終消費支出は、1兆1,296億円(対前年度比1.2%増)で、2年ぶりの増加となりました。

(3) 県内総資本形成

県内総資本形成は、3兆142億円(対前年度比11.6%増)となり、3年連続の増加となりました。

民間総固定資本形成は2兆6,610億円(対前年度比12.8%増)で、3年連続の増加となりました。

公的総固定資本形成は3,597億円(同0.8%増)で、3年ぶりの増加となりました。

在庫変動は前年度の▲144億円から▲65億円となりました。

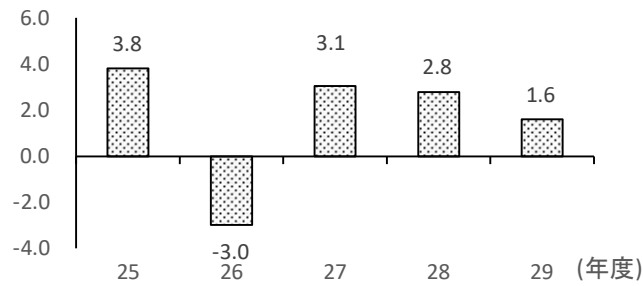
表7 県内総生産（支出側、名目）

| | 実数(億円) | | | 対前年度増加率(%) | | | 構成比(%) | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|------------|------|------|--------|-------|-------|
| | 平成27年度 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 | 27 | 28 | 29 |
| 民間最終消費支出 | 39,263 | 38,512 | 38,485 | ▲0.6 | ▲1.9 | ▲0.1 | 49.8 | 47.6 | 46.8 |
| 政府最終消費支出 | 11,366 | 11,162 | 11,296 | 0.6 | ▲1.8 | 1.2 | 14.4 | 13.8 | 13.7 |
| 県内総資本形成 | 25,788 | 27,014 | 30,142 | 7.3 | 4.8 | 11.6 | 32.7 | 33.4 | 36.6 |
| 財貨・サービスの移出入(純) ・統計上の不突合 | 2,349 | 4,304 | 2,350 | — | — | — | 3.0 | 5.3 | 2.9 |
| 県内総生産(支出側) | 78,766 | 80,992 | 82,272 | 3.1 | 2.8 | 1.6 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

7 項目別の推移（対前年度増加率）

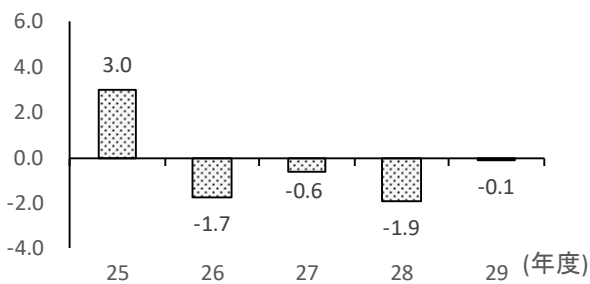
(単位: %)

県内総生産(支出側)



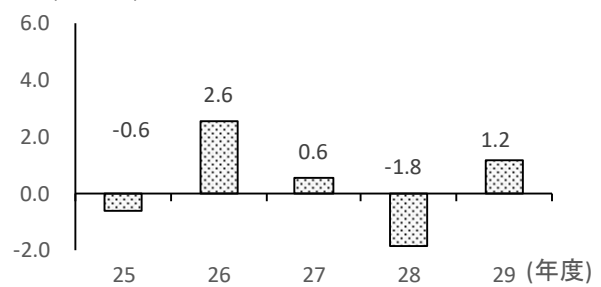
(単位: %)

1) 民間最終消費支出



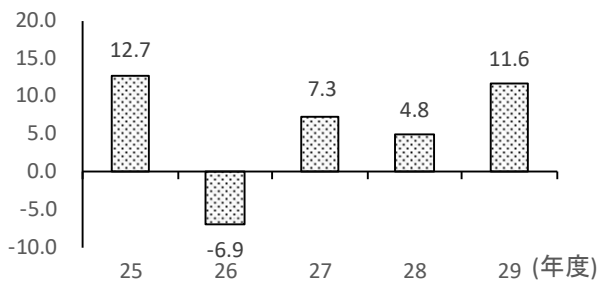
(単位: %)

2) 政府最終消費支出



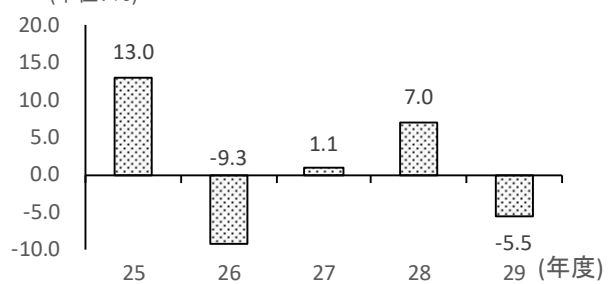
(単位: %)

3) 総資本形成



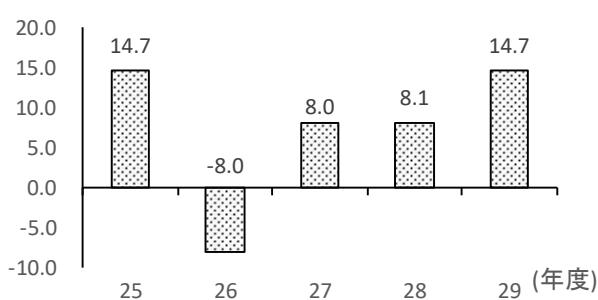
(単位: %)

3) - 1 民間住宅



(単位: %)

3) - 2 民間企業設備



(単位: %)

3) - 3 公的資本形成

